

関西企業フロントラインNEXT 逆風から飛び立つ航空機 – 関西航空機産業の明日への挑戦

航空機産業はコロナ禍で特に甚大な影響を受けている産業の一つです。しかし、航空機産業に携わる関西の中堅・中小企業を取組を調査すると、厳しい環境をただ堪え忍ぶだけでなく、将来を見据え様々な工夫や変革を続ける挑戦者としての姿が見えてきました。

そこで、近畿経済産業局では、こうした企業の取り組みにフォーカスしたレポート「関西企業フロントラインNEXT Vol.22 逆風から飛び立つ航空機 – 関西航空機産業の明日への挑戦」を作成しました。コロナ禍で歩みをとめてしまうのか、それとも新たな成長に向けた機会と捉え自社の成長につなげて行くのか、自社の課題に向き合い、コロナ禍の今だからこそできる・やるべき事項に取り組む企業の姿をご紹介します。

当局では、逆境の中でも挑戦を続けるこうした航空機産業企業の取り組みを「関西航空機産業プラットフォームNEXT」を通じて引き続きサポートしていきます。

1. 企業の取り組みのポイント

航空機産業に携わる各社は需要回復期に迅速なキャッチアップができる体制を維持・構築することが重要と考えられます。関西の中堅・中小サプライヤーは、専門家派遣事業など当局や関係機関の様々な支援策や機会を活用し、各社の課題に応じて様々な挑戦を進めています。

今だからこそ、将来に向けた準備を～「一貫生産体制構築」と「現場力強化」

- **ミツ精機株式会社** 航空機部品事業が主力の同社は、需要回復期のニーズに対応するため、非破壊検査など一貫生産体制構築や自社の固有技術の研究、現場力強化に取り組んでいる。

「新規事業への挑戦」と「従来事業のレベルアップ」、バランスをとりながら付加価値の向上を

- **株式会社きしろ** 降着装置やエンジン部品などの航空機事業に携わってきた同社は、販路拡大に積極的に挑戦する一方で、顧客と共同で技術開発するなど既存案件の高付加価値化を進めている。

コロナ禍は見直しの機会～工程の見直しで品質の安定化と大幅なコスト削減を実現

- **福伸電機株式会社** 他産業で培ってきた能力を生かし、航空機部品に挑戦してきた同社は、コロナ禍の生産調整の期間を活かし、工程の見直しを行い、作業工程・時間の大幅削減を実現させた。

「DX」、「海外展開」、「自社開発」、挑戦の積み重ねで切り拓く未来

- **能勢鋼材株式会社** 航空機産業クラスターの中核を担う同社は、AIなどデジタル技術を活用した生産性向上の取組、コロナ禍のニーズに基づくプロジェクト提案など、積極的に新事業に挑戦している。

変化することなしに生き残ることはできない～時代変化に応じた新技術への挑戦で広げる可能性

- **伊福精密株式会社** 金属3Dプリンタなどの新技術に率先して挑戦してきた同社は、コロナ禍でもBtoC事業（マスクのインサイドホルダーなど）に果敢に挑む一方、航空機部品の新規受注を実現。

「共通課題」に立ち向かう～協力会社同士の新たな連携の形

- **5社による連携事業** サプライヤー同士連携して共通課題に取り組む、各社のレベルアップ（コア・コンピタンスの強化）を図る取組。当面の具体的課題として、事業継続力強化計画（BCP）の策定を進めている。
(上村航機(株)・(有)田中工作所・(株)中谷鉄工所・(株)日本エアテック・ミツ精機(株))

2. 企業の取組の後押し

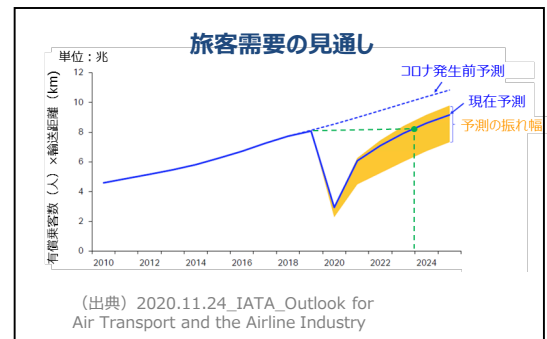
当局では、関西経済連合会、新産業創造研究機構（NIRO）と連携して運営している「関西航空機産業プラットフォームNEXT」を通じて、航空機産業企業の取組をサポートしています。

今年度は個々のサプライヤーの課題に応じて、生産管理、品質保証、認証取得支援、現場改善等の専門家を派遣する専門家派遣事業の他、ビジネスマッチング事業や新たな技術の活用等に関する情報発信など、多様な事業を実施予定です。

また、中小企業等の思い切った事業再構築の挑戦を応援する「事業再構築補助金」などの施策も活用し、コロナ禍による逆風の中でも頑張っておられる企業の皆様の挑戦を後押ししていきたいと考えています。

3. レポートとりまとめの背景

航空機産業はコロナ禍において最も大きな影響を受けている産業の一つです。旅客需要の回復は2024年までかかると言われる中、航空機産業に携わる企業は今後数年は厳しい経営環境を強いられると見られます。一方、長期的視点では、同産業は引き続き成長産業として期待されています。



厳しい状況が続く中、航空機産業に携わる企業は様々な工夫や挑戦を通じ、この逆境を乗り越えようとしています。需要回復期に成長へとつなげるためには将来を見据え自社の課題に向き合い、コロナ禍の今だからこそできる・やるべき事項に取り組むことが肝要と考えられます。

極めて高い安全性と技術力が要求される航空機産業は、他産業と比べ、事業化の体制構築や各種認証を取得するには時間がかかる他、工程見直し等改善活動が後手に回るなどの特徴があります。コロナ禍を契機にこうした航空機産業特有の課題に取り組む企業も存在します。

こうした背景から、「関西企業フロントラインNEXT」では、逆風に立ち向かい挑戦を続ける企業のプレイアップと、こうした企業の取り組みが他の航空機産業企業にとって取り組みのヒントとなることを目的に、コロナ禍による逆風の中でも、将来を見据え様々な工夫や挑戦を続ける中堅・中小企業の取り組みをまとめました。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 八田 明洋

担当者：中島、沼本、勘里

電話：06-6966-6022 FAX：06-6966-6082